

砂川市少年の主張大会 ～発表者の主張全文紹介③～

優秀賞 「やればできる！」

石山中学校3年 小室 壮大



「やればできる！」

この言葉は、芸人のティモンディ・高岸宏行さんがよく口にしてしているキャッチフレーズです。僕が6年生の頃、高岸さんは、あるインタビューで「本当にやればできているのか？」という質問に、「はい、毎日思っています！」と迷わずに答えていました。それを聞いて、よほど自信があるのだなと感じました。別の番組でも「やれば必ず成長できる」と意味もあるのだと話していました。

高岸さんの話を聞いて僕も「やればできる！」はいい言葉だと感じ、この言葉を意識し始めるようになると、いろんなことに挑戦する気持ちというのが生まれてきたような気がします。

そんな経験を2つお話ししたいと思います。

僕は、5歳の頃から剣道をしています。小学校6年生の時には、全道優勝をしました。中学生になってからも全道優勝を目指して頑張っていました。ところが、去年の大会はすべて中止となってしまいました。その理由は、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐためです。

僕は正直、泣きそうになりました。優勝することを目標に、今まで自分がやってきたことが、すべて無意味なものになってしまったような気がしたからです。

しかし、これで投げやりな気持ちになってはしようもありません。

「やればできる！」

僕は、家で素振りや技の研究を毎日欠かさず行いました。「来年はきっと大会が開催されますように。」そう願い続けながら。

僕を含めた多くの人々の願いが通じたのか、1年延期になっていた東京オリンピック・パラリンピックが開催される見通しです。(※)

それともなって、去年は中止となっていた多くの大会が少しずつ復活しています。あきらめずに努力をすれば、道は開かれると思えました。今年は、僕も中学生最後の大会となるので、目標を達成できるように頑張りたいと思います。

もう一つの経験は学校での出来事です。僕は今、生徒会長を務めていますが、もともとおとなしくて、人前に出るのが苦手な性格でした。立候補をすることについても、とても悩みましたが、悩んでいるうちに「このようなチャンスは2度とないかもしれない。」そんなふうに考えて、立候補をすることにしました。

半年経った今では、全校生徒の前で緊張せずに話をすることもできています。これも「やればできる！」ということを感じることができた経験でした。

最後に、「やればできる！」という言葉と同じくらい僕には大切な言葉があります。それは「不動心」です。不動心の意味は「何事によっても揺れ動くことのない精神」という意味です。

友達や周りの人にいろいろなことを言われたとしても、動揺せずに自分を信じていけばきっと道は開けるはずです。不動心で僕は信じ続けます！

「いつも、やればできる！」

(※この主張文は4月下旬に書かれたものです)

審査委員からの講評

「もともとがおとなしくて人前に出るのが苦手」と自己分析している発表者。「やればできる！」という言葉が一步踏み出す勇気を与えてくれたと、実体験2つを交えて論述しています。コロナ禍においては、物事をネガティブに捉えがちですが、「前向きな気持ちで努力し続けることを大切に」という若さあふれる主張に、未来への光明を感じます。